

# 令和7年度 特定健診歯科保健指導 導入事業研修会

名取市 実施状況



カーナくん

## 事業に参画した理由・背景

- ・ 歯周病の割合が増加する40代以降に対し、歯科保健指導を行う機会が少なかったため
- ・ 歯に関心を持ち、歯周病検診の受診率につなげるため

名取市（R6） 歯周病検診受診率（40歳～70歳） **7.9%**  
歯周病を有する人の割合 40歳 **67.5%** 60歳 **76.2%**

## 実施にあたり期待した効果

- ・ 歯科保健指導を受けることにより、口腔ケアの状況が改善する
- ・ 定期的に歯科健診を受診する、かかりつけ歯科医をもつことのきっかけづくり

# 事前準備

令和7年5月

健診団体、市保健センター 打合せ  
会場内説明場所、誘導場所などについて確認

令和7年6月

県健康推進課、県歯科医師会、市内歯科医院 歯科医師、県歯科衛生士会、  
市保健センター打合せ  
当日の流れ、口腔チェック・歯科保健指導内容の確認、準備物について

会場設置

市保健センターの準備  
資材運搬、会場設置、動線確認



# 実施概要

実施日	実施会場	特定健診受診者数 (40～74歳)	事業参加者
令和7年7月28日(月)	名取市民 体育館	189名 (参考) 令和6年・・・201名	42名(22.2%) 38名(18.9%)
令和7年7月29日(火)	名取市民 体育館	139名 令和6年・・・157名	40名(28.8%) 34名(21.7%)
合計		328名 令和6年・・・358名	82名(19.8%) 71名(19.8%)

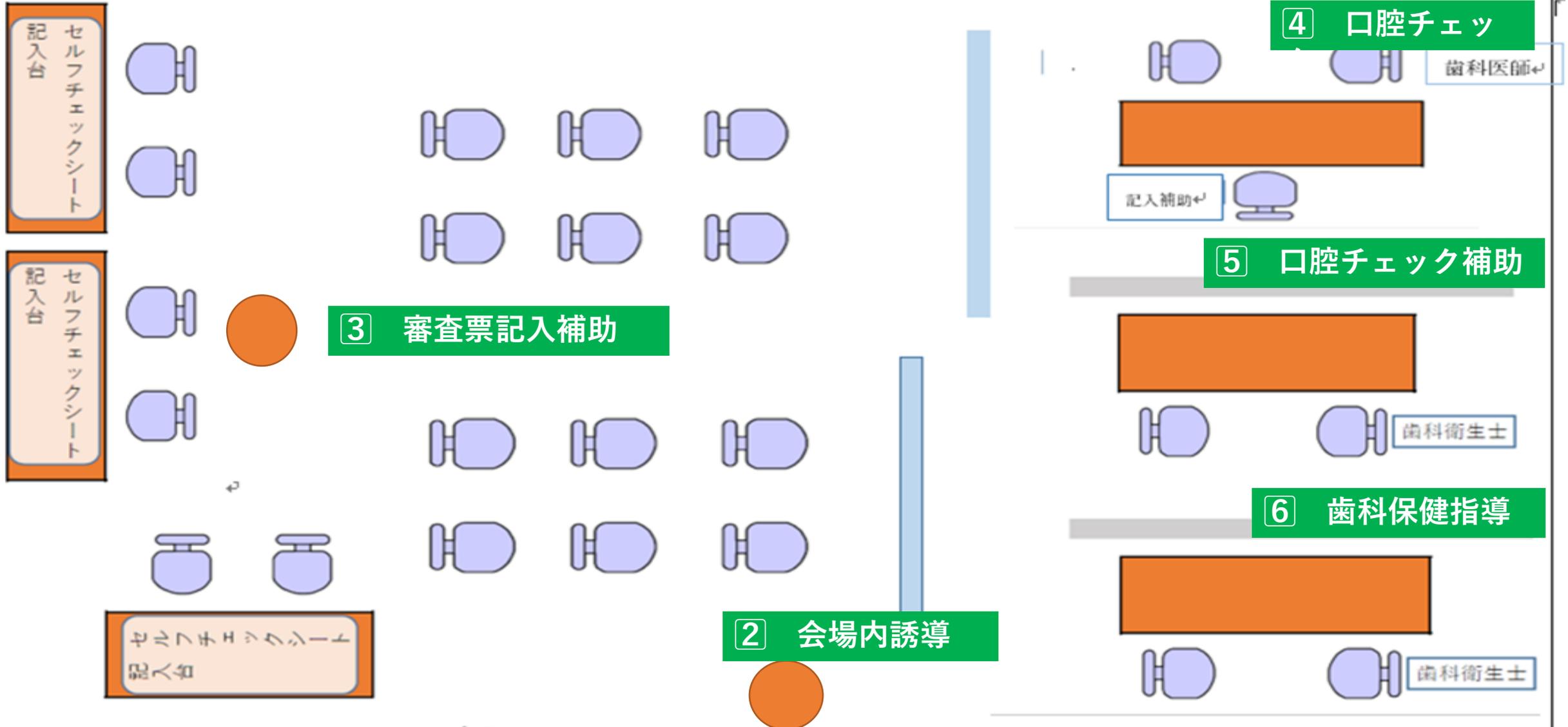
# 実施体制

- ① 事業主旨説明 : 2名 (市職員)
- ② 会場誘導 : 3名 (市歯科衛生士、補助スタッフ)
- ③ 審査票記入補助 : 1名 (歯科衛生士)
- ④ 口腔チェック : 1名 歯科医師 (岩沼歯科医師会より市内歯科医師)
- ⑤ 口腔チェック補助 : 1~2名 (市内歯科医院 歯科衛生士)
- ⑥ 歯科保健指導 : 2名 歯科衛生士 (県歯科衛生士会)





# 会場図（会議室）



# 参加者の反応など

- 「健診からの流れで、歯を含めて全身をみてもらえるのでありがたい。」
- 「歯科医師に相談する機会がないので、歯医者に通い始める良いきっかけになった。」
- 「歯科医院よりゆっくり相談できた。」
- 「歯間ブラシを使ってみようと思った。」
- 中には、歯の欠損が多く、よく噛めない等悩んでいた方も数人いた。



## 当日チェックシートより

- 定期受診していないかつ、歯科治療していない人→36人 (43.9%)  
普段歯科通院していない方にもはたらきかけることができた

## 事後アンケートより

- 特定健診の場における歯科医師による口腔チェックがあれば、  
今後も受けたいと思いますか。→はい 92%
- 特定健診の場における歯科衛生士による歯科保健指導があれば、  
今後も受けたいと思いますか。→ はい 92%



## 事業を実施して得た効果や利点など

- 成人期は働き盛りであり、なかなか時間をとりにくい状況であるため、総合健診時と併せて実施することは有効的
- 歯科医院に行くよりも敷居が低く相談しやすい
- 健康意識の高い方がいる一方、歯の喪失が早く、将来のオールフレイルの心配もある方もいた為、早期に介入することが大切



## 次回実施時に工夫したいこと

- 市の事業として実施した場合、対象者の拡大（国保以外の方の受け入れ）
- 事業実施について、広報に掲載
- パンフレットに無料で受けられることを強調する



# 今後の展望

- 令和8年度は、今回の事業をベースにしながら同じ会場、日数で継続していく予定（市の事業として実施し、補助金を活用）
- 市歯科プランで成人期の成果指標としている「歯周病を有する割合」を減らす対策を引き続き検討していきたい
- 他の保健事業などでも、集団歯科健康教育や歯科保健指導を受ける機会を広げていきたい



# 令和7年度モデル市として実施してみて



- 今年度はモデル事業2年目だったが、1年目の時に県で実施方法のモデルを示してくれたり、スタッフ等の派遣調整もして頂き、市単独で事業を実施するよりも負担が少なかった
- 成人期の歯科保健事業として歯周病検診のほかに携われるきっかけになった  
また、直接歯に関することについて住民の声を聞くことができたので、今後の施策や方向性に役立てたい
- 定期的に歯科通院していない方にとっては、  
歯科医院に行くよりも敷居が低く相談しやすいため、  
本事業の役割は大きいと感じた

